

令和6年度KCみやぎ「放射光利用」成果報告会を開催しました

2025年2月26日（水）に令和6年度KCみやぎ産学共同研究会（テーマ指定型）「NanoTerasu活用による農畜水産物・食品の測定・評価技術の開発と、企業・地域課題解決のための包括的利用システム構築（略称：放射光利用）」成果報告会が開催されました。

講演会には、会場である農学研究科大会議室とオンラインを合わせて約60名の参加がありました。原田昌彦センター長の挨拶、A-Sync KCみやぎ「放射光利用」推進事務局・堀籠智洋氏からの活動概要の紹介に続き、今年度実施したナノテラス測定会についての参加報告が二件ありました。JA全農くみあい飼料株式会社・鈴木 亮氏からは、牛肉・豚肉・鶏肉について、蛍光X線による元素分析や、X線CTによる“サシ”や筋組織の三次元観察などが紹介されました。東武トップツアーズ株式会社みちのくみらい旅プロジェクトチーム・佐々木 美樹氏／森口 亜美氏／吉野 鈴佳氏／千田 菜生氏からは、「未来創造型探究教育プログラム」の造成を目標にしたプロジェクトの紹介や、第二回ナノテラス測定会で行われたパブリカの内部構造の可視化データの説明がありました。東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター/農学研究科・放射光生命農学センター・高山裕貴氏からは、食農試料の観察のための技術高度化についての報告があり、宮城県産業技術総合センター企画・事業推進部 久田哲弥氏からは、ナノテラス利用支援に向けた公設試の取組について説明がありました。総合討論では、令和4年度より続く本事業の総括と次年度以降の産学官連携について話し合われました。



高山氏により、位相コントラストCTの導入による高空間分解能・高コントラスト観察の実現についての報告がありました。